

2022.05.14 立教大学法学部グローバルコース説明会・Q&A集
2022.07.31グローバルコース1Day Program説明会・Q&A追加

<入試関係(国際コース選抜)>

Q. 昨年のグローバルコースの倍率を教えてください。

A. 1.2倍でした。多くの受験生が素晴らしい課題小論文を書いてくださいました。面接でもぜひグローバルコースに来ていただきたい受験生ばかりでした。

Q. 昨年の課題小論文のトピックを教えてください。

A. Covid-19関係の問題でした。本学の入学センターに過去問請求フォームがございます。こちらからご請求ください。

▼ 過去問題請求フォーム

<https://forms.gle/xBKyJJg6Sm9gKxQW7>

Q. 国際コース選抜入試とGLAPの国際コース選抜では何が違うのでしょうか。

A. 国際コース選抜入試とは、国際系のコースを持つ学部が行う入試日程のことをいいます。ほぼ同じ日程で書類選考や面接試験を行っていますが、学部ごとに選抜を行っております。

<https://www.rikkyo.ac.jp/admissions/undergraduate/international.html>

<入試関係(推薦)>

Q. 立教女学院の内部進学はありますか。

A. ありますので、ぜひ前向きにご検討ください。

<グローバルコース概要>

Q. グローバルコースの1学年の定員は何人でしょうか。

A. 38名(うち留学生8名)です。

Q. 生徒の男女比はどのくらいでしょうか。

A. 今年度の1年生は男4:女6ぐらいの割合です。

Q.海外にルーツを持つ学生がほとんどですか？

A.日本で生まれ育った学生さんも多く在籍しています。

Q.グローバルコース生は大学の国際寮に入れますか。

A.立教大学の学生であれば誰でも入ることのできる専用寮があります。日本人の学生も入寮できますが、一定数が交換留学生に割り当てられています。例えば、RUID朝霞台では、120部屋のうち40部屋程度が交換留学生に割り当てられています。数に限りがありまして、先着順となりますので、応募を考える場合には、早めの応募をお薦めします。

<https://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/others/dormitories.html>

<授業の様子など>

Q.座学とディスカッションはどれぐらいの割合で構成されていますか。

A.授業により異なりますが、少人数クラスがほとんどですので、座学の講義形式をとっていても、双方向的なやりとりが行われています。

Q.少人数授業の具体的な人数を教えてください。

A.ほとんどの英語授業は10名～20名のクラスサイズです。

Q.どのように英語のクラスのレベル分けが行われますか？

A.入学直後に実施するプレイスメントテストにより行います。

Q.国際バカロレアコースにいますが、IB生には合う学科でしょうか。

A. グローバルコースの英語授業は英語によるディスカッションやプレゼンテーション、エッセイ執筆の機会があり、IBディプロマ経験者になじみやすい構成と言えるでしょう。

IB生は、課題解決型の問いを考えるのが得意と伺っています。法律の世界には、答えのない問いがたくさんあります。そういう意味で、IB生はグローバルコースにとっても向いていると思います。

Q.母国語が日本語で留学経験がないのですが、英語の講義についていけるでしょうか。

A. 英語だけの授業は、特に最初のうちは大変だと感じるかもしれませんが。しかし少人数のクラスには、どんな些細な分からないことでも気軽に質問できる雰囲気があります。そうしたときに英語で「わからない」と言えることも、英語の力を伸ばし、国際的なシーンで活躍していく上で大事なことだと思っています。

また英語授業の中には、日本語で質疑応答する時間を設ける工夫をするものや、入学時のプレイスメントテストに基づき、レベル別のクラス編成を行っているものもあります。

Q.授業外でもグローバルコースの生徒は英語を主に使って話されていますか。

A.今の1年生には留学生がいらないため日本語を使っているようですが、9月から短期の留学生と一緒に授業を受けるようになりますので、英語を使う場面も増えると思います。

<カリキュラムについて>

Q.法学科と国際ビジネス法学科の大きな違いは何ですか？

A.卒業要件単位の構成、つまり卒業のために単位取得が必要とされる科目群の内容が異なります。法学科は六法科目を中心とした基本的な日本法科目の修得を中核としており、法曹実務家や公務員を目指す場合にも対応しやすくなっています。国際ビジネス法学科はビジネス系・国際系科目を中心とした科目が卒業要件単位の中核となっています。国際ビジネス法学科の中にあるグローバルコースについては、グローバルコース生のみを対象とする授業も提供されています。また、グローバルコースに転コース可能なのは国際ビジネス法学科のみであり、法学科からの転科・転コースができない点も大きな違いです。

Q.国際ビジネス法学科とグローバルコースの違いは英語で学ぶかどうかの違いですか？内容の違いはありますか？

A.グローバルコースの卒業要件単位を構成する科目には、英語により展開される科目が多く含まれており、その一部はグローバルコース生にだけ履修が認められているものです。他学部で展開されている英語による講義も卒業要件単位に組み入れることが認められている点で、グローバルコース以外の国際ビジネス法学科の学生が日本語で受講できる科目と全く同じというわけではありません。また、たとえば日本語科目名に相当する英語科目がある場合でも同じ内容を英訳するわけではありません。たとえば、日本語で教える「民法」と英語で教える「Contract」では、内容に若干の重複はありえますが、Contractの方では、比較法制度の視点がより多く含まれること、ケーススタディに基づくディスカッションが増えるなど、大講義とは異なる教え方になることが通常です。

Q.必修科目にはどのような授業がありますか。

A.厳密な意味での必修科目は、語学科目のみとなりますが、1年生科目のIntroduction to Legal Studies(春・秋1科目ずつ)、Law and Society in Japan(春・秋1科目ずつ)、Legal Presentation, Legal Writingについては、自動的に登録がなされるので事実上すべての学生が履修しています。

Q.グローバルコースに在籍しながら、法学科の民法等の日本法の講義も必要に応じて受講可能でしょうか。

A.日本語による日本法の講義も履修可能です。

Q.国際ビジネス法学科のグローバルコースに所属しながら「公務員を目指す」の科目(法政ゲート講義など)を選択することは出来ますか？

A.可能です。

Q.アメリカの法律以外に例えば東南アジアの国の法律は勉強できますか。

A. 東南アジアの法律に関する授業そのものはありませんが、東南アジアの多くの国の取引に関するルールについては日本が法整備を支援した国も多いです。それらの国々のルールは、日本法を分かっていると理解がしやすいです。

<転コース関係>

Q.関係学校推薦入試で国際ビジネス法学科に入学した場合も、2年次からグローバルコースへの転コースは可能でしょうか。

A. どの入試形態でも(グローバルコースではない)国際ビジネス法学科にご入学いただければ、転コースにチャレンジできます。

Q.国際ビジネス法学科(一般入試)からの転コース制度について、英語スコアと面接内容の詳細を教えてください。また、国際コース選抜入試との難易度の差はありますか？

A. 転コースに当たっての英語要件・面接のレベルは、国際コース選抜とほぼ同様ですが、グローバル・コース生が1年間学んだことを反映してややレベルアップしたのになります。

<留学関係>

Q.大学間の協定校に留学を希望する場合、資格などの条件はあるのでしょうか。

A. 留学にも様々なタイプものがあります。詳しくは下記のHPをご参照ください。
<https://www.rikkyo.ac.jp/campuslife/support/international/abroad.html>

Q.短期留学の選考基準にはどのようなものがありますか？

A. プログラムにより相違しますが、GPA及び英語要件があるプログラムがあります。語学プログラムの場合は英語要件がないものもあります。

Q.1年間の留学を希望する場合、どの時期から準備を始めるべきでしょうか。

A. 交換留学を希望する場合、留学を開始する前年の秋から出願が始まります。英語圏への留学の場合、出願に求められる基本的なものは、英語要件、成績要件とエッセイの提出です。英語力の高い学生が優先されるため、TOEFL等の英語資格試験の受験準備も早めの対策が必要です。また、成績については1年次春からの平均で上位者が選抜されますので、早めに準備を始めることをお勧めします。

Q.夏休みの留学期間はどのくらいですか？

A. おそらくオックスフォードサマープログラムの期間のことをお尋ねされたのだと思います。オックスフォードサマープログラムの期間は4週間です。日本でも事前と事後に授業があります。

Q.オックスフォードのサマープログラムの留学費用はいくらぐらいですか？

A. 75～85万程度を予定しておりますが、参加者の人数や為替レートなどにより変動いたします。

Q.西オーストラリア大学短期留学プログラムはグローバルコースのみのプログラムですか？国際ビジネス法学科でも参加可能ですか？

A. 法学部全体のプログラムですので、グローバルコースでなくても参加は可能です。

Q.留学は英語があまり上手く喋れなくても、行くことはできるのですか？

A. プログラムによっては英語要件が課されていますが、英語要件がないプログラムや英語をこれから伸ばそうという学生向けのプログラムもあります。

<卒業後の進路>

Q.このコースの卒業生は具体的にどのような職業に就く人が多いのでしょうか？

A. 今年4月に始まったばかりのコースなのでまだ分かりませんが、先ほどの動画でご紹介した学生を見ていると、きっと素晴らしいキャリアが待っているであろうと確信しております。

現1年生(日本人のみ)に行ったアンケートでは、商社や日系企業の海外進出に携わる仕事を希望する傾向があり、今後、本学のキャリア支援へと繋げていく予定です。

Q.司法試験の合格率はどれほどなのでしょうか

A. 立教大学法学部には法曹コースという法曹志望者向けのコースが用意されておりますが、グローバルコース生と法曹コース生とでは、実際には、履修する科目がかなり異なっております。グローバルコース生は英語科目を主に受講しますが、法曹コース生は司法試験が日本語で行われるため日本語科目を主に受講します。そうしますと、グローバルコースで司法試験受験を志す学生は少ないのではないかと推測しております。